介護部会 横浜西ブロック会議 報告書

実施日　　2019年 12月 2日（月）　15：00～17：00

会議実施会場　　介護老人保健施設 ユトリアム

参加人数　　10　施設　14 名　参加

リハパーク舞岡、スカイ、ハートケアよこはま小雀、ハートケアよこはま横浜莫愁苑、グリーンワーフ東戸塚、千の星・よこはま、うららの里ユトリアム、ライフモア保土ヶ谷

議事項目　　外国人職員の雇用と教育について

内容

A施設

現在フィリピン出身のパートを1名雇用している。言葉の壁が大きく、会話は成り立つものの、専門用語の理解や読み書きが厳しく、ひらがなやローマ字の専用のノートを活用して伝えているため、現在は記録やリーダー業務は考えていない。

B施設

外国人職員の雇用はしていない。今後も雇用の予定は今のところはない。

C施設

2年程前にベトナム人が介護補助として働いていたが、日本語学校の生徒であくまでもｱﾙﾊﾞｲﾄという事で辞めてしまった。今は採用していない。

D施設

人員不足により外国人職員の採用を進めている。現在ベトナム人3名介護アシスタントして採用している。今後は4～5名を目安に採用していければと思っているが言葉の問題など課題がありリーダー業務は難しい。

E施設

中国人1名の常勤職員がいる。語学力もあり、ケアマネの資格も取得し頑張ってくれている。

F施設

現在3名の外国人職員が働いている。来年4月よりモンゴルから2名の

技能実習生が入職予定。現在受け入れるためには技能指導者と、生活指導者が必要になるため勉強会に参加している。
ミャンマー出身の外国人職員が3年在籍しリーダー業務もこなしている。
本人談「優しく指導してもらっている。それに応えられるように自分も努力している。利用者のADLの把握や、関わり方が難しいがメモを取り振り返るようにしている」

G施設
現在採用はなく、採用予定も今のところない。

H施設
インドネシア、フィリピンの方が働いている、夫が日本人なので会話は問題なく、利用者への対応も優しいが、読み書きには支障があるため、名前をローマ字表記にしたりしている。

I施設
フィリピン、中国、マレーシア、タイの方が働いており、うち2名は常勤入浴介助のみの方もいる。タイの技能実習生の受け入れをしている。
読み書きの指導をしながら、1か月半くらいで早番や遅番の指導に入る方や、半月ぐらいはフロアーで介護補助をしてもらい、排泄介助の指導に入ってもらっている。

J施設
現在フィリピン、韓国出身の方がそれぞれ1名ずつ働いている。
利用者への対応が優しいので人気がある。初任者研修受講中
読み書きの指導など他施設の対応を参考にしたい。

その他
総会　　2020年４月
同日に介護部会の研修会開催予定

ブロック長はライフモア保土ヶ谷
次回のブロック会議は6月開催　横浜莫愁苑を予定